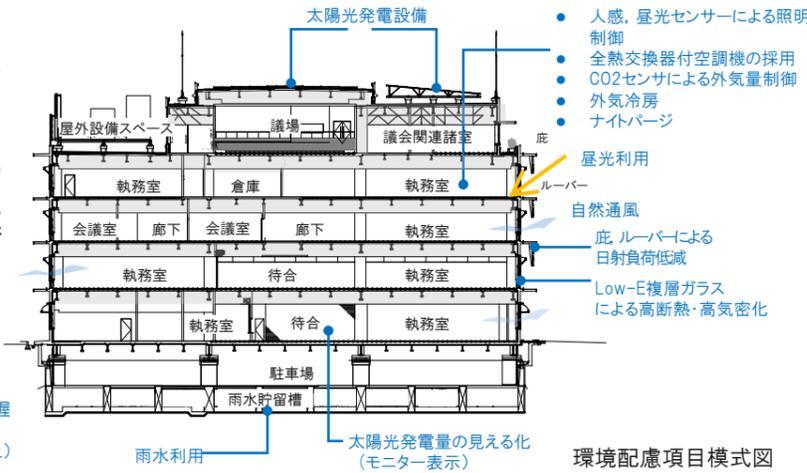


環境計画

環境配慮計画の考え方

- 最大限設置可能な太陽光発電設備を屋上に設置し、太陽エネルギーを活用します。
- 外装の日射遮蔽ルーバー、自然換気などにより省エネルギー化に努め、エネルギー消費量や太陽光発電量のデジタルサイネージによる見える化を行い、環境配慮を身近に感じることが出来る計画とします。

- LED照明器具の採用
- 高効率機器の採用
- 節水型器具の採用
- 大温度差送水方式の採用 (出入口温度差=7℃)
- BEMSによるエネルギー消費量把握と表示装置による見える化 (運用改善と庁内の環境意識の向上)

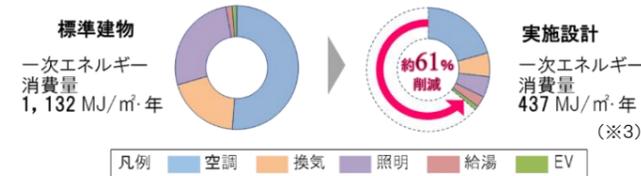


CASBEE(※1) Sランクの認証取得

- CASBEE-建築(新築) Sランク, CASBEE-WO(ウェルネスオフィス) Sランクに到達する計画としています。

ZEB Ready(※2) の認証取得

- 一次エネルギー消費量を基準値より61%(※3) 削減し、ZEB Ready認証を取得します。



※1 CASBEE(建築環境総合性能評価システム): 建築物の内外の環境性能を評価し、格付けする手法。省エネルギーや環境配慮はもとより、室内の快適性なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム。
 ※2 ZEB Ready: 標準建物の一次エネルギー消費量と比較して、50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物。
 ※3 実施設計図の内容を入力して自主評価を行いました。今後審査機関に申請の上、認定を受ける予定です。審査に伴い、数値に変更が出る可能性があります。

今後の予定

令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
実施設計			
新庁舎建設工事(22か月)		付帯工事 移転作業	新庁舎供用開始(予定)

市民説明会のお知らせ

新庁舎建設工事に関する市民説明会を開催します。

● 日時・場所・募集人数

日時	会場	定員
11月10日(木) 午後6時30分～	リオンホール Aホール	50人
11月11日(金) 午後3時～	ひかりプラザ 203・204会議室	30人
11月12日(土) 午前10時～	★ 市役所 書庫棟会議室	30人
11月15日(火) 午後3時～	★ いずみホール Bホール	30人

● 申し込みについて

【申込期間】11月2日(水)～
各開催日前の平日17:00まで
 【申込方法】メール または 電話にて下記まで
 (オンライン参加希望の場合はメール申込に限る)
 【必須事項】参加希望日時・氏名・電話番号・オンライン参加の有無

担当：国分寺市 政策部 公共施設整備推進室
 Eメール：shinchousha@city.kokubunji.tokyo.jp
 電話：042-325-0111(内線：442)

★11月12日(土)と11月15日(火)は、オンライン配信も行います。

新庁舎建設 実施設計がまとまりました

令和4年1月に市民の皆様へ報告しました「基本設計」の内容を踏まえ、実施設計では新庁舎に備えるべき機能の具現化に向けてより詳細な検討・設計を進めてまいりました。令和4年12月の工事着手にあたり、実施設計で検討した内容について報告いたします。(令和4年11月)



計画概要

計画地	国分寺市泉町二丁目102番9(地番)
敷地面積	12,623.72㎡
延床面積	21,784.01㎡
建築面積	4,225.91㎡
建物高さ	24.7m(防災無線アンテナ等を含む高さ42.04m)
階数	地下1階 地上5階
構造	鉄骨造・鉄筋コンクリート造/免震構造



配置計画

- 庁舎建物は、敷地のほぼ中央に配置し、敷地周辺から十分な引きをとり、ゆとりを持たせた配置とします。
- 車両の出入口は比較的交通量の少ない西側道路のみとし、一般車両(来庁者、庁用車両)出入口を北西の1か所に集約することで、歩行者の通行上注意が必要な箇所を最小限にできるとともに公共交通車両動線との交錯をなくし、敷地内外の安全性を向上させます。
- 敷地内の広場は、平常時は市民の憩いの場、市民活動の拠点、また有事の際は災害対策活動の拠点として、多目的に機能します。
- 現市役所敷地内の市民憲章碑や平和の灯、記念樹を新庁舎に移設します。また敷地内の桜の大樹は可能な限り保存し、歴史を大切に継承していきます。



立面計画

緑豊かで閑静な周辺環境に調和する、親しみやすい景観とします

デザインコンセプト

- 歴史と今と未来をつなぐ 歴史を尊重しながら次世代へつなぐ 永く市民に愛される国分寺らしいデザイン
- 地域に調和する庁舎 周辺環境に配慮し街並みに調和する外観
- 地域資源の活用 地域産木材・現地の木・土を用いた建材の活用



北東側パース

外装の色彩は市内小中学生を対象とした体験型プログラムで検討しました

カラーコンセプト 木漏れ日グリーン

武蔵野台地に根を張り大きく育った木々をモチーフに、明るい茶系と落ち着いたあるグリーンの配色。東山道武蔵路側と武蔵国分寺公園側で表情を切り替えることで、それぞれの周辺環境にあわせて豊かな表情が感じられるように配慮しました。



利用者が多い1階まわりは明るく親しみやすい色調としました

西側パース

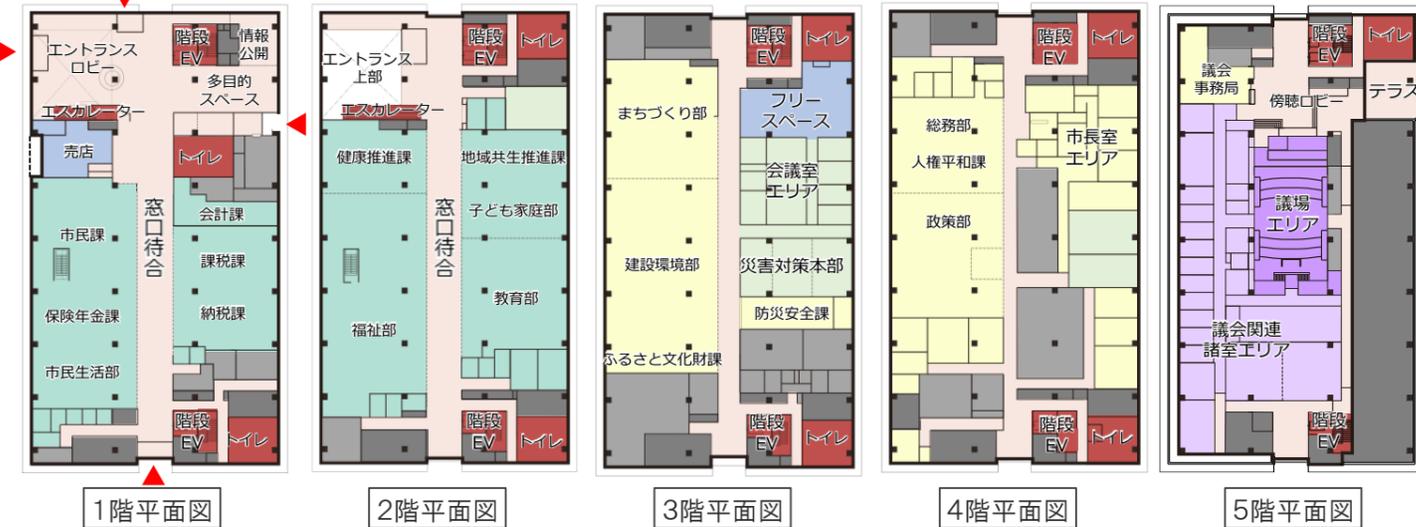


武蔵国分寺公園側は「木漏れ日」をイメージしたグリーン色の外装とします

東側パース

各階平面計画

- 各フロア南北対称の位置にエレベーター(EV)・階段・トイレを配置し、動線がわかりやすく明快な配置としています。また、エレベーターホールは自然光が入る明るい空間としています。
- 市民利用の多い窓口機能は、1・2階に配置し、市民の利便性向上を図ります。市民の利用頻度が高い2階窓口へのアクセスを容易にするため、1・2階間にエスカレーターを設置します。
- 中層階にはまちづくり部や建設環境部、防災安全課と政策・総務部門を配置し、災害発生時に連携し迅速な対応がとれるようにします。
- 最上階には独立性に配慮し、議会施設を配置、地下には来庁者の駐車場を設けます。



1階平面図

2階平面図

3階平面図

4階平面図

5階平面図



エントランスホール・多目的スペースは、東山道武蔵路と武蔵国分寺公園を繋ぐ場所となることから、双方の景観と自然につながるインテリアとします。



1階待合は、手に触れる箇所を中心に温かみのある木質化を図り、「緑豊かな国分寺市」らしいインテリアとします。



議場のインテリアは、国分寺の豊かな自然を表現します。

ユニバーサルデザイン計画

誰もが利用しやすく安心して快適な庁舎とするため、ユニバーサルデザインに配慮した整備をします

ユニバーサルデザインの考え方

- 様々な利用者の特性に配慮し、可能な限り全ての人に利用しやすい環境整備を行います。

トイレの配置

新庁舎のトイレは下記の方針を基に、庁舎全体で使いやすいトイレ配置とします。

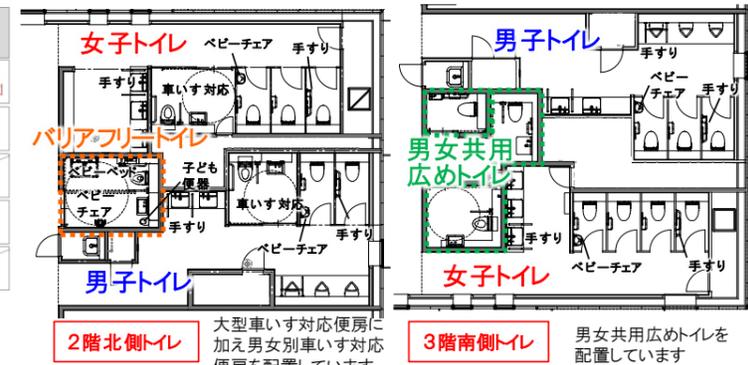
【トイレレイアウト方針】

- 各階の利用者特性に合わせた機能配置を行う
- 各所トイレに必要機能を分散配置し、同一フロア内、上下階で機能を連携・補完しあうレイアウトとする
- 男女共用トイレの設置を行う
- 大型車いす対応便房(電動車いす対応)の設置を行う

	北側トイレ		南側トイレ		その他
	一般トイレ	バリアフリートイレ	一般トイレ	バリアフリートイレ	
5階	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	中央トイレ
4階	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	中央トイレ
3階	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	授乳室
2階	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	授乳室
1階	男子トイレ	女子トイレ	-	-	授乳室

凡例
 車いす対応 大型ベッド 赤ちゃんベッド 赤ちゃん用便器 オストメイト ファッシングボード 授乳スペース

各階トイレの機能分散配置



トイレレイアウト例

外部からの庁舎への誘導

- 外構は多方面からの来庁に配慮し、各所わかりやすいサイン配置・誘導ブロック配置を行います。また各出入口まわりは適切な明るさを確保、音声案内装置を設置します。

駐車場

- 車いす利用者用駐車場は地下出入口・EV近くに配置します。あわせて、歩行が困難な方に優先的にご利用いただける「おもいやり駐車場」を配置します。

防災計画

庁舎建物としての安全性・耐震性を確保する免震構造を採用します

地震対策

- より高い免震性能を発揮するシステムを採用し庁舎の機能維持を図ります。
- 設備機器及び配管についても耐震安全性を確保し、地震災害時にも機能を維持します。

主要室および主要設備機器を地上配置とします

浸水対策

- 新庁舎計画地はハザードマップ上、浸水の心配のない地域です。
- 万が一の浸水リスクに備え、主要室および主要設備機器を1階より上層の階及び外構に配置し、安全性を高めます。
- 地下駐車場に流入する雨水については、十分な機能をもった排水設備を準備し、浸水リスクに備えます。

国分寺市の災害対策活動の司令塔として業務継続機能に配慮した計画とします

災害時のBCP対応方針

- 電力インフラが万が一途絶した場合でも、バックアップ対策を図り、7日間業務を継続できる計画とします。
- 電力の多重化を図るため、高圧2回線受電方式とします。
- ガスの引込は、災害時にも遮断しにくい中圧ガスを採用します。中圧ガスはガス混焼型の非常用発電機に供給し、燃料と混焼して電源供給の長時間化(168時間以上)を図ります。
- 太陽光発電設備により災害時のエネルギーバックアップの強化を図ります。